友愛の森(二中だより)

学校教育目標　　二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和６年 10 月 30 日発行

「失敗」は「成功」のもと

～11月全校朝礼より～

二中生にとって最大の行事である希翔祭文化の部・運動の部が、盛大に開催されました。当日は多くの方の御参観と温かい御声援をいただき感謝申し上げます。生徒たちは練習の成果を存分に発揮し、最後まで全力で頑張りました。

文化の部では、きれいな歌声と素晴らしいパフォーマンスを披露することができました。また運動の部では、接戦になる競技もあり見ている方も盛り上がったと思います。勝敗はつきましたが、終われはノーサイド、お互いの健闘を讃え合うことができました。

みんなで力を合わせて精一杯頑張った希翔祭は、将来、生徒たちが大人になっても忘れられない思い出になったと思います。

希翔祭を通して、１年生から３年生までの縦のつながりとクラスの団結力がより高まっていきました。その高まりを今後の学校生活に生かしていきたいと考えています。引き続き御協力よろしくお願いいたします。

11 月の朝礼では、次のような話をしました。

この言葉は私の好きな言葉です。誰しも、失敗はしたくはありません。しかし、**失敗を一度もせずに大きくなる子供（もちろん大人も）はいません。**大なり小なりの失敗を経験して、いろいろなことを学んでいきます。

自分が立てた目標に対して、何もしなければ失敗はしません。しかし、それでは成長や成果は望めません。果敢に挑戦すれば、失敗は避けられません。ある心理学者によると、**後悔の 75%は「やらなかったことに対する後悔」**だそうです。「やらぬ後悔より、やる後悔」、ぜひ積極的に何事にも挑戦してほしいと思います。

また、失敗したときは、成功へとつなげるためにその後がとても重要になってきます。失敗したとき**「なぜ失敗したのか」「どんな失敗だったのか」「その失敗をしないためには次にどうすればよいのか」**を自分で振り返ることが必要です。その中で、自分が間違ったと思えば、そこは素直に直し、次に進むことが大切です。**周りの人も、誰でも失敗はする、大切なのはその後だという寛容な気持ちをもって接すれば、その失敗がやがて成功へとつながっていく**と信じます。失敗だと思っていても、鉄棒の逆上がりのように成功へと徐々に近づいている失敗もあります。**成功するまで続ければ、それは失敗ではなくなります。**

二中生には、いろいろなことに挑戦し、つまずきを経験しながら、課題を解決する力を身に付けてほしいと思っています。**試行錯誤（トライ&エラー）することで、次はどうすればよいのかを学んでいきましょう。**失敗を恐れず、「失敗は成功のもと」と気持ちを切り替えることができれば、やがて成功が近づいてきます。

PTA奉仕作業ありがとうございました（10月12日）

奉仕作業ありがとうございました。二中は敷地が広く、なかなか普段手を掛けられないところが多くありますが、皆様がきれいにしてくださって、本当に助かりました。おかげさまで、希翔祭運動の部を気持ちよく迎えることができました。

希翔祭文化の部（10／10）・運動の部（10・25）

二中生にとって最大の行事である希翔祭文化の部が 10 月 10 日（木）、運動の部が 10 月 25 日（金）に行われました。今年度の希翔祭スローガン「希翔転結」を生徒全員が意識し、主体的に行動して行事を完成させようとする姿勢が素晴らしかったです。この二つの行事を通して身に付けた力を、後期の学校生活に生かしてほしいと思います。